

酒田市 舗装長寿命化修繕計画

概要版

令和5年3月



酒田市建設部土木課

1. はじめに

舗装は交通荷重、気象条件等の外的作用を常に受けるとともに、舗装自体の老朽化や自動車交通量の増加に伴い、放置しておけば供用性が低下し、やがては円滑で安全な交通に支障をきたす。

酒田市が管理する市道路線延長は約 962km あり、舗装の修繕箇所は年々増加傾向にある。

これまでは、緊急を要する修繕工事については、その都度修繕を行ってきたが、事後的な修繕では舗装の老朽化に伴う費用の増大に対応できない可能性がある。

そこで、酒田市では利用者に快適で安全な道路環境を継続的に提供するため、これまでの対処的な修繕から長寿命化材料を使用し予防保全的な修繕へ転換を図ることを目的に舗装修繕計画を策定し、調査結果に基づく舗装の劣化予測に基づき、コスト縮減や事業費の平準化を図る。

2. 市道路線の現状（令和 5 年 3 月時点）

表- 2.1 市道管理延長

区分		路線数 (路線)	実延長 (m)
幹線道路	1級	88	134,435.3
	2級	103	135,328.6
その他		2,237	692,397.7
合計		2,428	962,162

「酒田市の土木事業概要（令和 4 年度版）」より

3. 舗装修繕計画の対象路線

舗装修繕計画対象路線は次項より表- 3.1 に示す通り、市道路線約 962km のうち、高い管理水準が求められる約 279km の区間を選定した。路線の選定方針は以下のとおり。

表- 3.1 舗装修繕計画対象路線

○平均幅員10m以上

路線番号	分類	路線名	下り延長	上り延長	路線番号	分類	路線名	下り延長	上り延長
1-1003	C	中町日吉町線	356	356	9-2001	C	東町曙町線	1,588	1,588
1-1005	C	光ヶ丘大浜線	411	411	9-3011	C	曙町一丁目13号線	210	210
1-1007	C	光ヶ丘線	175	175	9-3016	C	東町一丁目2号線	414	414
1-3012	C	北新町一丁目二丁目線	343	343	9-3019	C	東町一丁目5号線	605	605
1-3028	C	古湊明治線	472	472	9-3040	C	上安4号線	235	235
1-3075	C	中町二丁目3号線	0	94	9-3065	C	上安町線	882	882
1-3081	C	中町中央線	257	69	9-3067	C	上安町富士見町線	1,211	1,211
1-3146	C	柳小路線	302	555	9-3073	C	こあら二丁目1号線	312	312
1-3147	C	光ヶ丘公園線	780	780	9-3074	C	こあら二丁目2号線	224	224
1-3148	C	光ヶ丘陸上競技場線	237	237	9-3089	C	こあら三丁目1号線	460	460
1-3501	C	中町通り線	0	0	11-3017	C	北境5号線	37	37
2-1001	C	酒田駅幸町線	360	360	12-1001	C	亀ヶ崎小牧線	4,495	4,495
2-1002	C	酒田町東栄町線	1,194	1,194	12-1002	C	四ツ興野大宮線	2,070	2,070
2-1003	C	中町相生町線	323	323	12-2003	B	東両羽町大宮線	1,004	1,004
2-1004	C	東泉町四丁目線	265	265	12-2004	C	松原南東町二丁目線	977	977
2-2002	C	酒田町東泉町線	781	781	12-3001	C	あきほ町1号線	472	472
2-2003	C	新橋一丁目線	253	253	12-3005	C	あきほ町5号線	95	95
2-2007	C	東泉町二丁目線	319	319	12-3014	C	大宮1号線	452	452
2-3062	C	上本町相生町線	340	340	12-3018	C	大宮町2号線	836	836
2-3069	C	北新橋一丁目二丁目線	509	509	12-3026	C	大宮町10号線	776	776
2-3083	C	下安町1号線	279	279	12-3028	C	大宮町12号線	388	388
2-3091	C	下安町一番町線	2,382	2,382	12-3034	C	大宮町三丁目2号線	743	743
2-3096	C	新橋一丁目線5号線	524	524	12-3048	C	大宮町卸町線	707	707
2-3133	C	新橋北新橋1号線	1,027	1,027	12-3049	C	卸町1号線	437	437
2-3137	C	たくみ通り線	232	335	12-3050	C	卸町2号線	500	500
2-3159	C	中通り線	346	65	12-3066	C	こがね町二丁目4号線	727	727
2-3172	C	新井田町9号線	434	434	12-3077	C	東大町三丁目4号線	380	380
2-3198	C	東泉町一丁目8号線	384	384	12-3085	C	東大町三丁目12号線	362	362
2-3218	C	東泉町三丁目1号線	267	267	13-3006	C	飯森山6号線	375	375
2-3244	C	東泉町五丁目六丁目線	1,272	1,272	13-3007	C	飯森山公園線	353	388
2-3275	C	ゆたか二丁目1号線	180	180	13-3010	C	飯森山西1号線	344	344
2-3287	C	ゆたか三丁目5号線	118	118	13-3011	C	飯森山西2号線	505	505
2-3288	C	ゆたか東泉町線	810	810	13-3012	C	飯森山西線	867	867
3-1001	C	大町両羽町線	1,643	1,643	13-3051	C	十坂線	652	652
3-1003	C	新内橋中の口橋線	585	585	14-1005	C	堰東線	293	293
3-1004	C	千石町松原線	1,801	1,801	14-3022	C	京田一丁目1号線	646	646
3-1005	C	東中の口亀ヶ崎線	1,270	1,270	14-3031	B	十五軒下通線	1,110	1,110
3-2001	C	亀ヶ崎大町線	1,153	1,153	14-3033	C	堰東2号線	648	648
3-2004	B	東両羽町線	186	186	15-3011	C	京田西工業団地1号線	992	992
3-2005	C	両羽町線	927	927	15-3014	C	京田西工業団地4号線	120	120
3-2006	C	若竹中央線	974	974	15-3016	C	京田西工業団地6号線	207	207
3-3001	C	入船町1号線	173	173	15-3018	C	京田西工業団地8号線	492	492
3-3012	C	大町みずほ二丁目1号線	362	362	15-3028	C	黒森18号線	344	344
3-3065	C	亀ヶ崎五丁目松原南線	492	492	18-1001	C	公園線	733	733
3-3076	C	亀ヶ崎七丁目六丁目線	854	854	18-3032	C	八森線	678	678
3-3102	C	千石町亀ヶ崎三丁目線	322	322	19-3033	C	公民館西線	90	90
3-3128	C	東両羽町亀ヶ崎線	517	517	19-3075	C	上川原緑沢線	399	399
3-3144	C	本町港橋線	226	226	21-1003	C	福山橋本線	1,062	1,062
3-3190	C	両羽町7号線	325	325	22-1005	C	竹田上北目線	4,640	4,640
3-3204	C	若竹町一丁目6号線	153	153	22-1012	C	山田1号線	950	950
3-3205	C	若竹町二丁目1号線	251	251	22-3002	C	相沢2号線	462	462
4-2001	C	九木原飯盛山線	1,043	1,043	22-3092	C	城南1号線	326	326
4-2002	C	高見台緑ヶ丘線	520	520	22-3094	C	城南3号線	265	265
6-3004	C	藤塚穂積線	2,562	2,562	25-3002	C	飛鳥神社前線	293	293
6-3009	C	宮海5号線	827	827	25-3113	C	新山橋橋線	1,060	1,060
6-3011	C	宮海工業団地1号線	415	415	25-3128	C	緑町粕町線	566	566
7-1001	C	市神本橋線	2,568	2,568	25-3142	C	平田中央線	1,917	1,917
9-3120	C	日の出町一丁目16号線	326	326			小計	80,553	80,569
9-3121	C	日の出町二丁目1号線	190	190			上下合計		161,122
9-3122	C	日の出町二丁目2号線	95	95					
9-3127	C	富士見町2号線	452	452					
9-3142	C	富士見町二丁目3号線	280	280					
9-3170	C	四ツ興野8号線	114	114					
9-3172	C	四ツ興野10号線	27	27					

○密接重要路線

路線番号	分類	路線名	下り延長	上り延長
1-1008	C	日吉町大浜線	695	695
2-2004	C	新橋二丁目線	404	404
2-2008	C	若浜新橋線	1,097	1,097
2-2009	C	若浜東大町線	274	274
2-3075	C	北千日町豊里線	2,185	2,185
2-3082	C	栄町千日町線	995	995
2-3099	C	新橋二丁目線	420	420
3-3107	C	堤町両羽橋線	2,144	2,144
2-3136	C	新橋東西線	619	619
4-2003	C	宮野浦緑ヶ丘二丁目線	1,600	1,600
4-3058	C	宮野浦7号線	390	390
5-3016	C	前門線	412	412
6-3003	C	豊里藤塚線	2,222	2,222
7-3039	C	宮形塚淵線	1,710	1,710
8-1003	C	吉田新田中吉田線	1,271	1,271
8-2004	C	安田京屋線	3,247	3,247
8-3007	C	刈穂線	448	448
9-1004	C	四ツ興野熊手線	2,688	2,688
9-2005	C	日の出町一丁目中野新田線	3,034	3,034
9-3012	C	曙町一丁目萩島線	2,264	2,264
9-3102	C	中野曽根漆曽根線	883	883
10-1001	C	萩島第1号線	2,485	2,485
10-3019	C	熊野田横代線	396	396
13-1001	C	十里塚坂野辺線	2,010	2,010
13-1004	C	浜中黒森線	2,138	2,138
13-2001	C	飯森山十坂線	1,376	1,376
13-2003	C	十里塚飯森山線	1,369	1,369
13-3028	C	板野辺新田1号線	1,515	1,515
13-3037	C	板野辺新田黒森線	4,138	4,138
14-1004	C	十五軒局線	3,668	3,668
14-2002	C	新堀丸沼線	1,007	1,007
16-1001	C	広岡浜中線	2,530	2,530
18-3041	C	大島田横代線	4,552	4,552
25-3051	C	砂越手蔵田線	2,877	2,877
		小計	59,063	59,063
		上下合計		118,126
		舗装点検延長		279,248

4. 舗装修繕の基本方針

舗装の個別施設計画の策定にあたっては、診断結果を踏まえた適切な措置を行うことで、道路舗装の長寿命化や舗装の維持修繕費のライフサイクルコスト削減を目指す。

4.1 道路の分類の設定

修繕の実施にあたり、効率的かつ効果的に道路を管理していくために、道路の役割や性格、修繕実施の効率性、舗装のストック量、管理体制等の観点から、道路の分類を A～D に区分した。道路の分類分けを表- 4.1 に示す。酒田市では、分類 B、分類 C および分類 D が該当し、分類 B については重要物流道路、主要地との密接な関係にある一般国道とを連絡する重要路線とし、分類 C については 2 車線道路とし、分類 D については 1 車線道路（生活道路等）とした。各分類の管理区分と延長を表- 4.2 に示す。

表- 4.1 道路の分類イメージ

特性	道路の分類
・高規格幹線道路 等 (高速走行など求められるサービス水準が高い道路)	A
・損傷の進行が速い道路 等 (例えば、大型車交通量が多い道路)	B
・損傷の進行が緩やかな道路 等 (例えば、大型車交通量が少ない道路)	C
・生活道路 等 (損傷の進行が極めて遅く占用工事等の影響がなければ長寿命)	D

表- 4.2 道路の分類の管理延長

道路の分類	管理区分	延長(m)
B	重要物流道路主要地との密接な関係にある一般国道とを連絡する重要路線	1,581
C	2車線道路	-
D	1車線道路(生活道路等)	-

4.2 点検方法および点検計画

分類 B の道路については、損傷の経年変化を注視する必要があることより、一般財団法人土木研究センターが実施する性能確認試験に合格した路面性状測定車により路面性状調査（ひび割れ率、わだち掘れ量、IRI）を実施し、舗装の損傷度を MCI にて定量的に把握する。

分類 C および分類 D の道路は、日常的な道路パトロールにて点検を実施し、現況の路面損傷程度を確認し、応急的な対応が必要な箇所を把握する。以下の表- 4.3 に点検方法と点検計画を示す。

表- 4.3 点検計画

道路の分類	点検方法	点検頻度	記録方法
分類B	路面性状調査(検定車)	5年に1度	路面性状一覧
分類C、D	道路パトロール	日常	パトロール日誌

※分類 C、D のうち損傷の進行が速い路線については、FWD などの詳細調査を実施し、路盤以下の層が健全であるかを把握し、修繕を実施することとする。

4.3 詳細調査

路面性状調査の結果、MCI が管理基準値以下の場所は、FWD 等による詳細調査を行い、修繕方法を決定する。

4.4 管理基準の設定

既存の情報・資料や路面性状調査結果より、分類 B の管理基準は、以下のように設定した。なお管理基準には MCI を採用した。

管理基準は、MCI3 以下を含む路線を基本とするが、特に交通量が多く路線としての管理基準が高い路線及び近隣の路線と一体的に整備することでより整備効果が期待できる路線も対象とした。また、損傷区分は、FWD 調査結果（詳細調査結果）より表- 4.4 のように設定した。

表- 4.4 管理基準

		管理基準		
道路の分類	分類B	損傷区分Ⅲ		
		MCI ≤ 3.0	損傷区分Ⅲ-1	損傷区分Ⅲ-2
			D0 < 基準値	D0 ≥ 基準値

※D0：FWD 調査より得られる載荷点直下のたわみ量

4.5 維持・修繕方法の管理指標

道路の分類ごとの維持・修繕方法の管理指標を以下の表- 4.5 に示す。管理指標の設定は、総合的に路面を評価できる MCI を採用する。

舗装の管理指標は、管理する道路の重要性、地域性なども考慮する必要がある、画一的に定めることが必ずしも適切とはいえないことから、現地の状況をよく把握して維持・修繕の必要性を最終的に判断することが重要である。また、損傷の進行が速い道路は、路盤以下の損傷が予想されるため、詳細調査を実施し適切な修繕方法を選定する必要がある。

表- 4.5 維持・修繕方法の管理指標

MCI	分類B			分類C、D
	交通量区分N6	交通量区分N5	交通量区分N4 N3以下のDID	
0～2.5	打換えまたは 路上路盤再生	打換えまたは 路上路盤再生 または切削OL	打換えまたは 路上路盤再生 または切削OL	打換えまたは 路上路盤再生 または切削OL
2.5～3.0			切削OLまたは 路上路盤再生	切削OLまたは 路上路盤再生
3.0～3.5	切削OLまたは 路上路盤再生	切削OLまたは 路上路盤再生	維持管理 パッチング シール材注入等	維持管理 パッチング シール材注入等
3.5～4.0				
4.0～4.5	維持管理 パッチング シール材注入等	維持管理 パッチング シール材注入等		
4.5～5.0	維持管理 パッチング シール材注入等	維持管理 パッチング シール材注入等	維持管理 パッチング シール材注入等	維持管理 パッチング シール材注入等
5.0～	日常管理	日常管理		

4.6 修繕時の設計期間と信頼度

修繕を実施する際の設計期間と信頼度は、道路の分類により以下の表- 4.6 のように設定する。

表- 4.6 修繕時の設計期間と信頼度

道路の分類	設計期間	信頼度
B	20年	90%
C	20年	90%
D	20年	75%

5. 劣化予測

路面性状調査及び調査結果を反映した舗裝修繕計画の見直しを 5 年毎に実施する。調査結果を蓄積し、酒田市の舗装の現状に見合った劣化予測式を最適化していく。劣化予測に基づき対策箇所、区間を計画することで予算の平準化や早期対策を図る。

作成した劣化予測式を以下に示す。

表- 5.1 劣化予測式

項目	予測式
ひび割れ率	$y=1.043x+0.236$
わだち掘れ量	$y=0.972x+0.178$
平たん性	$y=0.992x+0.184$

5.1 使用目標年数の設定

ひび割れ率、わだち掘れ量、平たん性より算出した MCI の劣化曲線を以下に示す。

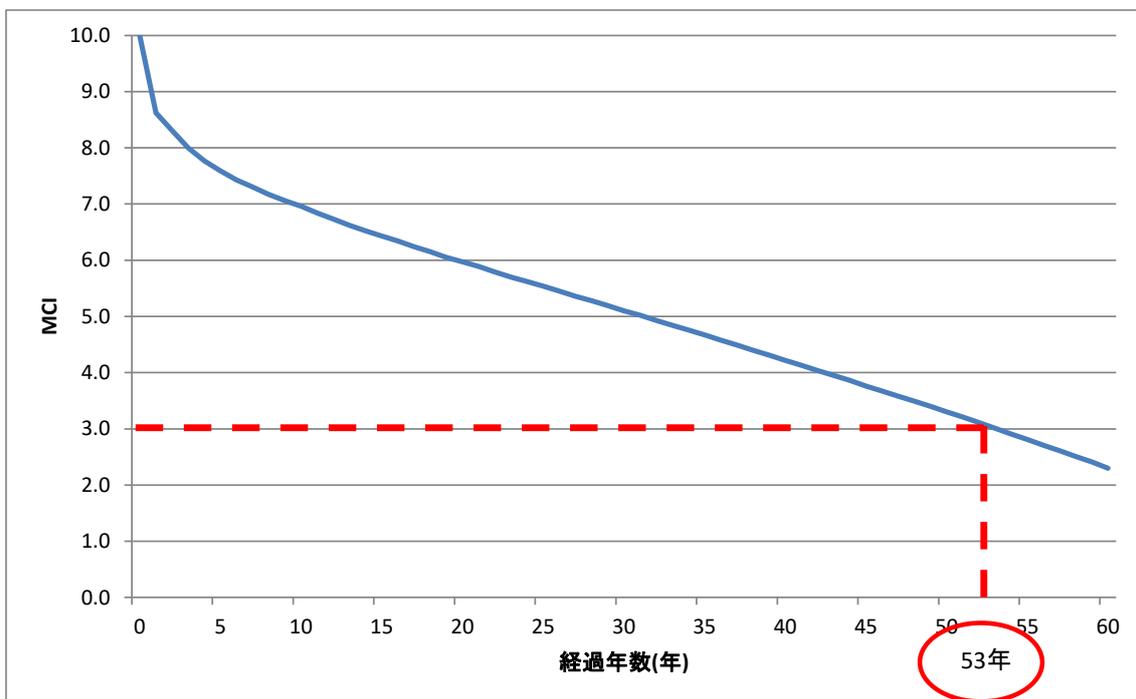


図- 5.1 MCI 劣化曲線

MCI 劣化曲線より、管理基準である MCI3.0 に到達する年数は 53 年である。よって、使用目標年数は、53 年と設定した。

6. 路面性状調査の結果

令和 4 年度に実施した路面性状調査結果を以下に示す。

6.1 路面性状値のランク分け

路面性状値(MCI、ひび割れ率、わだち掘れ量)をランク分けし、その延長比率を把握した。各路面性状値のランク分けは、下表に示すとおり。

表- 6.1 路面性状調査値のランク分け

項目	MCI	ひび割れ率	わだち掘れ量
ランク分け	$MCI \leq 3.0$	0~20%	0~20mm
	$3.1 \leq MCI \leq 4.0$	20~40%	20~40mm
	$4.1 \leq MCI \leq 5.0$	40%以上	40mm以上
	$5.1 \leq MCI$	-	-

参考として、ひび割れ率とわだち掘れ量と MCI の関係を以下の表に示す。

表- 6.2 ひび割れ率とわだち掘れ量と MCI の関係

		わだち掘れ量								
		0mm	5mm	10mm	15mm	20mm	25mm	30mm	35mm	40mm
ひび割れ率	0%	10.0	8.3	7.3	6.4	5.6	4.9	4.2	3.5	2.9
	5%	6.4	6.4	6.0	5.6	5.1	4.7	4.2	3.5	2.9
	10%	5.6	5.6	5.5	5.0	4.5	4.1	3.7	3.4	2.9
	15%	5.0	5.0	5.0	4.6	4.2	3.7	3.4	3.0	2.6
	20%	4.5	4.5	4.5	4.3	3.8	3.4	3.0	2.7	2.3
	25%	4.1	4.1	4.1	4.0	3.6	3.2	2.8	2.4	2.1
	30%	3.8	3.8	3.8	3.8	3.4	3.0	2.6	2.2	1.8
	35%	3.5	3.5	3.5	3.5	3.2	2.8	2.4	2.0	1.6
	40%	3.3	3.3	3.3	3.3	3.0	2.6	2.2	1.8	1.5
	45%	3.0	3.0	3.0	3.0	2.8	2.4	2.0	1.7	1.3
	50%	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.3	1.9	1.5	1.1
	55%	2.6	2.6	2.6	2.6	2.5	2.1	1.7	1.4	1.0
	60%	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.0	1.6	1.2	0.9
	65%	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	1.9	1.5	1.1	0.7
	70%	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.7	1.4	1.0	0.6
	75%	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.6	1.2	0.9	0.5
80%	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.5	1.1	0.8	0.4	

6.2 調査結果の分析

調査路線の路面性状値をランク分けした結果を以下の図表に示す。

早急に修繕が必要となる $MCI=3.0$ 以下の延長比率は、全体の「10.1%」であり、延長は 28,272m である。

修繕が必要な “ $3.0 < MCI \leq 4.0$ ” および “ $4.0 < MCI \leq 5.0$ ” の延長比率は、全体で「38.1%」であり、延長は 106,325m である。

ひび割れ率は、重度の破損状態である “40%以上” の延長比率は、全体の「12.3%」であり、中度の破損所帯である “20~40%” の延長比率は、全体の「23.1%」であった。約 1/3 が、ひび割れ率のランクが中度以上であり、ひび割れによる損傷が進行している。

わだち掘れ量については、「99.1%」の延長比率で “0~20.0mm” のランクにあることから、わだち掘れによる損傷がほとんどないことが予想される。

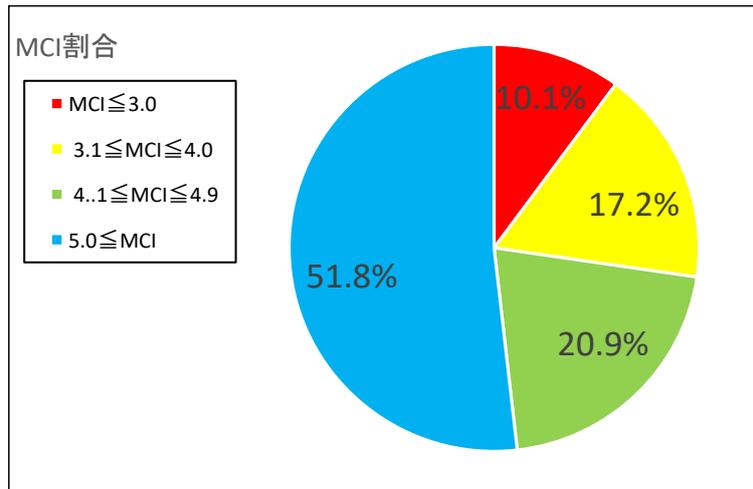


図- 6.1 MCI ランク別割合

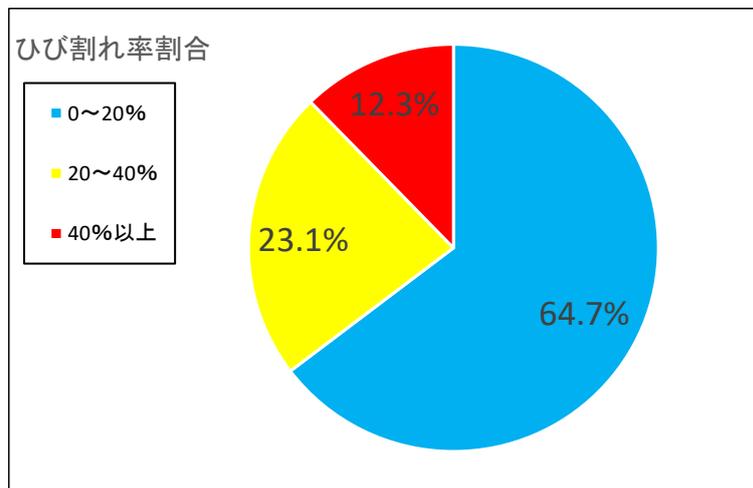


図- 6.2 ひび割れ率ランク別割合

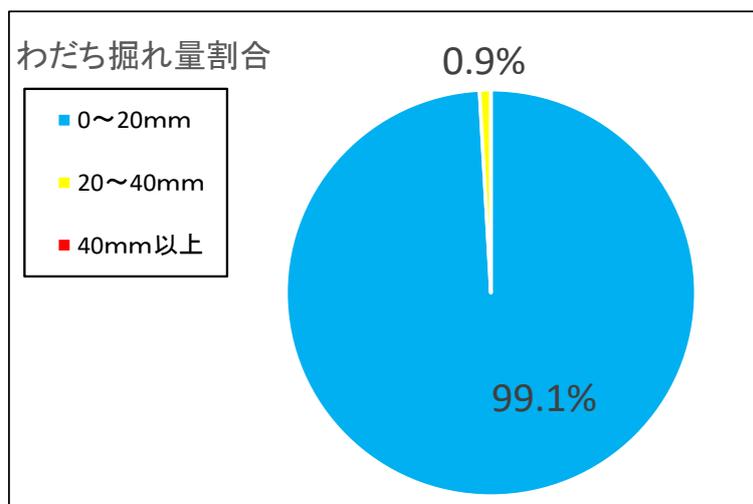


図- 6.3 わだち掘れ量ランク別割合

7. 令和9年度までの修繕計画

7.1 路面性状の劣化予測式（令和5年度～令和9年度）

本年度の調査で得られた路面性状値を、令和5年度～令和9年度までの5年間予測し、路面性状（MCI、ひび割れ率、わだち掘れ量）の値がどのように変動するかシミュレーションを行った。

MCIが管理基準である3.0未満の箇所は、修繕の対象とした。修繕の優先順位は、MCI値が低い順とした。なお今回は、MCI3.0未満の路線の約半分である14,140mを5年間で修繕した場合の予算平滑化について、シミュレーションを行った。

7.2 使用した劣化予測式

劣化予測は、平成29年度と令和4年度の路面性状測定データを基に劣化予測式を作成し、その式を用いた。

表-7.1 使用した劣化予測式

項目	予測式
ひび割れ率	$y=1.043x+0.236$
わだち掘れ量	$y=0.972x+0.178$
平たん性	$y=0.992x+0.184$

7.3 使用した修繕条件と方法

使用した修繕条件と方法を表-7.2に示す。

表-7.2 使用した修繕条件と方法

項目	条件
交通量区分	N3
設計期間	20年
信頼度	90%
修繕方法	路上路盤再生工法

7.4 シミュレーション結果

シミュレーション結果を、表-7.3、図-7.1に示す。

MCI3.0未満の約半分である14,140mを5年間で修繕すると、年間約1億7千万円の修繕費用がかかることが予想される。この時のMCIは5.4となり、望ましい管理水準の状態となる。

5年間修繕を実施しなかった場合、MCIは2.0（早急に修繕が必要な管理水準）となるため、修繕を行うことによって、MCI低下を抑制し、MCI5.0以上の望ましい管理水準に保つことができる。

表- 7.3 シミュレーション結果

年度		修繕費用 (円)	平均MCI (修繕あり)	平均MCI (修繕なし)
1年目	R05	171,224,088	3.2	2.4
2年目	R06	171,587,364	3.8	2.3
3年目	R07	170,860,812	4.4	2.2
4年目	R08	171,405,726	4.9	2.1
5年目	R09	171,042,450	5.4	2.0

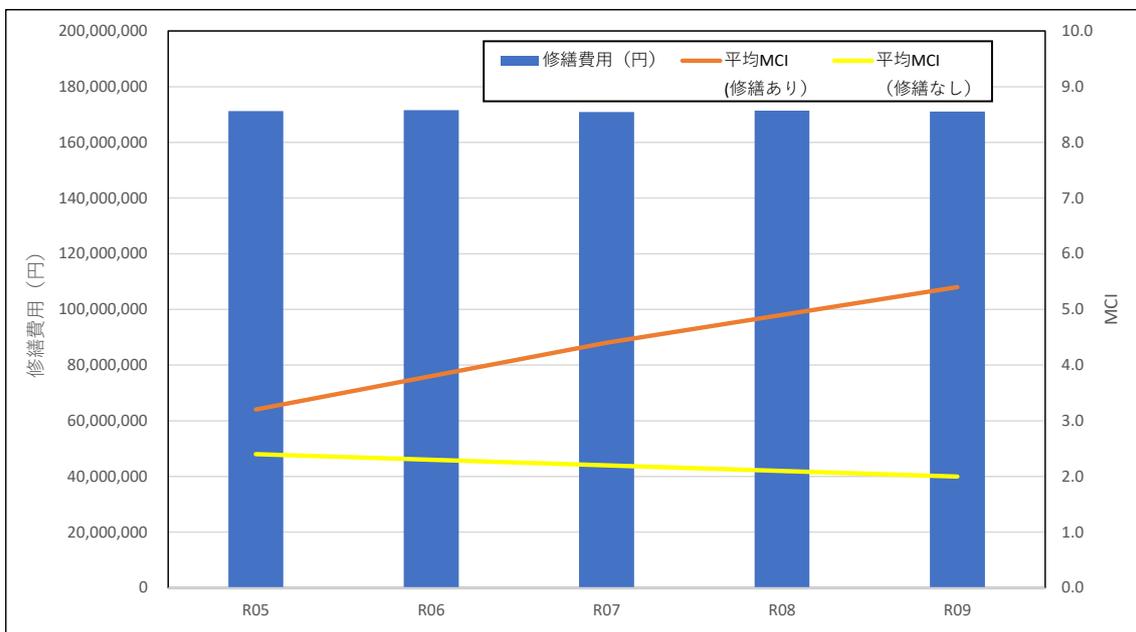


図- 7.1 シミュレーション結果

表- 7.4 に修繕対象となる MCI3.0 未満の路線を示す。

表- 7.4 MCI3.0 未満の路線一覧

路線名称	上下	MCI3.0未満の箇所	路線名称	上下	MCI3.0未満の箇所
中町日吉町線	下	200 ~ 356	城南3号線	下	0 ~ 100
	上	200 ~ 356	城南1号線	上	0 ~ 100
松原南東町二丁目線	上	700 ~ 800	栄町千日町線	上	200 ~ 400
あきほ町1号線	下	450 ~ 472	たくみ通り線	下	0 ~ 232
	上	450 ~ 472		上	100 ~ 335
あきほ町5号線	上	0 ~ 95	中通り線	下	100 ~ 300
卸町2号線	下	200 ~ 400	砂越手蔵田線	下	0 ~ 200
	上	100 ~ 400		上	1,406 ~ 1,500
こがね町二丁目4号線	下	0 ~ 200	大町両羽町線	上	1,000 ~ 1,100
		300 ~ 500	若竹中央線	下	200 ~ 400
北新町一丁目二丁目線	下	300 ~ 343	上	200 ~ 300	
	上	100 ~ 300	大町みずほ二丁目1号線	上	200 ~ 300
浜中黒森線	下	100 ~ 200	九木原飯森山線	下	300 ~ 600
	上	0 ~ 200	前門線	上	100 ~ 412
飯森山十坂線	上	100 ~ 200	豊里藤塚線	下	1,100 ~ 1,200
		700 ~ 1,000		下	1,300 ~ 1,400
飯森山西線	下	400 ~ 500		上	2,000 ~ 2,222
	上	200 ~ 500		上	1,900 ~ 2,000
坂野辺新田黒森線	下	2,100 ~ 2,200	藤塚穂積線	下	1,100 ~ 1,200
		3,800 ~ 4,000	市神本楯線	下	2,300 ~ 2,400
十五軒局線	下	100 ~ 233	吉田新田中吉田線	下	1,200 ~ 1,271
	上	100 ~ 233		上	700 ~ 1,000
京田一丁目1号線	下	500 ~ 600	上	1,200 ~ 1,271	
	上	400 ~ 646	安田京屋線	下	500 ~ 1,182
堰東2号線	上	100 ~ 200	上	100 ~ 200	
		500 ~ 648	曙町一丁目荻島線	下	1,600 ~ 1,700
京田西工業団地1号線	下	100 ~ 500	上	1,800 ~ 1,900	
	上	100 ~ 200	上安町線	上	700 ~ 800
京田西工業団地6号線	下	0 ~ 207	荻島第1号線	下	0 ~ 100
	上	0 ~ 100		下	1,200 ~ 1,900
京田西工業団地8号線	下	200 ~ 300		上	2,000 ~ 2,400
	上	0 ~ 300		上	1,200 ~ 1,700
黒森18号線	下	0 ~ 344	上	1,800 ~ 2,485	
	上	0 ~ 344	下	0 ~ 200	
広岡浜中線	下	0 ~ 100	日吉町大浜線	上	0 ~ 200
		507 ~ 561	十里塚飯森山線	下	300 ~ 400
		700 ~ 800		上	0 ~ 100
		1,200 ~ 1,500	若浜新橋線	下	482 ~ 501
	1,900 ~ 2,000	上		700 ~ 800	
上	0 ~ 100	上	200 ~ 300		
公園線	下	200 ~ 300	堤町両羽橋線	下	0 ~ 100
		561 ~ 900		下	200 ~ 1,000
	1,200 ~ 1,500	上		1,500 ~ 1,600	
	1,600 ~ 1,700	上		0 ~ 100	
	上	1,900 ~ 2,000	上	200 ~ 400	
八森線	下	100 ~ 200	上	600 ~ 800	
	上	600 ~ 733	上	1,000 ~ 1,100	
大島田横代線	下	200 ~ 400	上	1,800 ~ 2,000	
		3,962 ~ 3,997	上	2,100 ~ 2,144	
公民館西線	上	0 ~ 90	宮野浦緑ヶ丘二丁目線	下	500 ~ 600
福山橋本線	下	800 ~ 900		上	900 ~ 1,000
		1,200 ~ 1,400	下	300 ~ 1,000	
竹田上北目線	下	2,000 ~ 2,200	宮野浦7号線	下	200 ~ 300
		4,300 ~ 4,400			
		600 ~ 800			
	上	1,100 ~ 1,400			
		1,600 ~ 1,700			
		1,800 ~ 2,400			
		2,500 ~ 2,600			
2,700 ~ 2,900					
3,200 ~ 4,200					

路線名称	上下	MCI3.0未満の箇所		
四ツ興野熊手島線	下	100	~	200
		300	~	1,100
		1,300	~	1,400
		2,007	~	2,300
	上	100	~	200
		300	~	600
		700	~	900
		1,000	~	1,100
		1,300	~	1,500
		2,007	~	2,300
日の出町一丁目中野新田線	下	700	~	1,000
		1,300	~	1,400
		2,600	~	2,900
	上	1,300	~	1,400
		2,000	~	2,200
		2,600	~	2,700
曙町一丁目荻島線	下	700	~	1,000
		1,600	~	1,700
		1,800	~	1,900
	上	700	~	1,100
		1,600	~	1,700
		1,800	~	1,900
中野曽根漆曽根線	下	0	~	500
		600	~	883
	上	0	~	883